

P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(5) 高齢者			
施策の方向性	高齢者が本に親しむため、利用しやすい環境づくりやサポートに取り組むとともに、読書を通じた学びやボランティア活動等への参加を促進する取組を行います。			
主な取組	①読書活動の促進			
	②生涯学習の促進			
成果指標	読書が好きな人の割合	策定時点	目標値(R9)	
		80.6%	83.0%	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	はつらつセカンドライフコーナーの資料充実	年間受入冊数	182冊	150冊
主な取組の実施状況及び今後の方針	①読書活動の促進		達成状況	
	◆はつらつセカンドライフコーナーの充実に向けて182冊の資料を購入した。今後はポジティブな内容の資料を意識して選書する。(まどかぴあ図書館) ◆「おとなのための1分音読」を地域カフェで紹介した。今後はまどかぴあ図書館において、新規の取組としてアルツハイマー月間(9月)に特集コーナーを設置する。(すこやか長寿課) ◆まどかぴあ図書館での電子図書館の使い方講座に8名の参加があった。事前予約はなく当日の集客に苦労したことから、今後は電子図書館の周知方法を見直す。		②期待どおり	
	②生涯学習の促進		達成状況	
	◆特定のテーマに関する文献・情報のリストや、調べ方の案内であるパスファインダーを令和7年度に発行できるように作成を進める。(まどかぴあ図書館) ◆心のふるさと館のふるさとラボにおいて、各種資料を配架しており、蔵書検索サービスやスタッフの支援のもと、大野城市の歴史・文化について深く学べる環境を提供した。(心のふるさと館) ◆読書ボランティアの募集情報「読書ボランティアへのおさそい」を配布するとともに、ホームページに掲載した。		②期待どおり	
C 評価				
推進委員会評価	◆問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。			
検討が必要な事項	◆なし			
A 改善				
改善結果				